



発行所
福島県二本松市郭内2-347
福島県立安達高等学校同窓会
電話 0243-22-0016
FAX 0243-22-6314



「年々歳々花相似たり 歳々年々人同じからず」

安達高等学校同窓会

会長 五輪 美智子

持ちで入学式に臨み、新たな青春の日々をスタートさせました。
皆様のご協力により設立された「メモリアル基金」も実施三年目となり、芸術鑑賞会や毎年200名に及ぶ、各種検定試験に挑戦する達高生への補助などに有効に使われています。昨年はこの基金で、バスケット男女・卓球男女・テニス女子・バトミントン・野球・サッカーの6部活動のユニフォームを新調しました。千年の長きにわたり、歌に詠まれた「安達」の名を負うユニフォームに身を包み、多くの大会で活躍する後輩の姿を、同窓の皆様に見て頂いた「年々歳々花相似たり」歳々年々人同じからず」を思い出します。「花は毎年変わらず咲くが、花を

見上げる人は毎年違う」との意味で、人の世の無常の漢詩として有名ですが、私は高校生の時も今も、だからこそ「同じ時、同じ場所で、同じ花を、共に見上げた人との出会いはめったにない奇跡」なのだと思います。
創立百周年記念事業で出会うことができた多くの達高生や先生方、PTAや地域の皆様、常に励まし応援を下さった同窓生の皆様との出会いと思いは、私にとって生涯忘れることの出来ない宝物です。
今年もまた、百年桜を見上げることが出来た喜びを胸に、同窓会役員・事務局員一同、一丸となって活動して参りますので、同窓生の皆様のご理解とご協力を、何とぞ宜しくお願いいたします。

慶祝

次の方々が栄えある叙勲を受けられました。
お祝い申し上げます。

※ 会員の皆さんからの情報に基づいて掲載しております。

★故安田勇吉さん(昭和29定卒)

瑞宝小綬章

令和2年秋の叙勲
検察官としての職務をはたし、功労を重ねられました。

★高橋京子さん(昭和46高卒)

瑞宝単光章

令和6年秋の叙勲
福島県看護協会会長を3期6年担い、東日本大震災と東京電力福島第1原発事故発生後は避難者の健康維持や被災地で働く看護師の支援に努められました。

★伊藤博世さん(昭和39定卒)

瑞宝単光章

令和7年危険業務従事者叙勲
二本松南消防署主幹で退職するまで火災や災害現場での人命救助に全力を注がれました。

★高橋 章さん(昭和45高卒)

瑞宝単光章

令和7年危険業務従事者叙勲
県巡査として地域分野に在籍し、住民に頼られる存在として交番の職務に励まれました。

★安田明弘さん(昭和40高卒)

瑞宝双光章

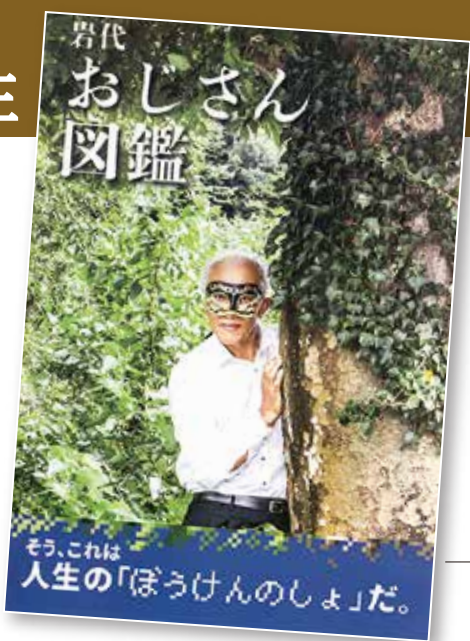
令和7年春の叙勲
二本松市内の学校歯科医を務め、児童らの歯の健康を守るために尽力されました。



「原田美保さんフォトコンテスト最優秀賞！」

フォトグラファー原田美保さん(平成17年卒)の作品が、東京カメラ部開催の郡山広域部門で最優秀賞を受賞しました。入賞作品は二本松のシンボル「霞ヶ城」です。

「岩代おじさん図鑑」の 愛すべき同窓生



二本松市の東部岩代地域は、子どもや若者の数よりおじさんの数が断然多い、いわ

ばおじさんでできている「日本の過疎地最先端」を自ら名乗っています。

岩代観光協会が2023年に発行した「岩代おじさん図鑑」は、個性豊かで魅力ある20人を掲載しています。多くのメディアで取り上げられると、全国で話題となりました。ファンミーティングなどの取り組みを通じた人々の交流は、地域の魅力再発見につながっています。

① 大内英克さん
(昭和59高卒)
ふだんは理容師。あるときは報道マン。郷土愛溢れる同窓生おじさん最年少。



② 菅野伝授さん
(昭和48大農卒)
日常生活の豊かな創造空間を描く、県内外にファンを持つ「岩代の宮沢賢治」。



③ 齋藤勝昭さん
(昭和52高卒)
男の隠れ家で多くの趣味を楽しむ、「癒しパワー」にファンも釘づけ。



④ 武藤利一さん
(昭和44高卒)
「歩くコンプライアンス」の裏の顔はエンタメ大好きギャップが魅力。



⑤ 渡辺孝英さん
(昭和43高卒)
豆を愛し貴重な地場産品「小浜納豆」を守る日本酒覚おじさん。



⑥ 渡辺文男さん
(昭和43大農卒)
若手農業者の育成に人生をかける、福島県の有機農業の第一人者。



⑦ 伊東秀雄さん
(昭和47大農卒)
いわゆる高原そばを栽培し地域の名物に。お祭り大好きおじさん。

母校だより

あいさつ

学校長 渋川 卓也



安達高等学校同窓会の皆様、初めまして。この4月に須賀川創英館高校から着任しました渋川卓也と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

4月1日、新入生と同じ希望と不安の入り混じった気持ちでこの学び舎の門を叩いてから、約1ヶ月が過ぎました。4月8日、五輪同窓会長様、大河内PTA会長様をはじめ多数の同窓会、PTAの皆様、来賓の皆様を迎えての令和7年度の入学式を挙行し、117名の新入生を迎えたところでありました。五輪同窓会長様からご祝辞をいただいたことも、その中で「三顧の松」のお話がありました。不勉強の自分は、入学生と同じ目線で、校門に悠然と佇む由緒ある松が、自分と新入生を暖かく迎えてくれたことに気づきました。百二年目を迎える本校の歴史を紐解くと、大正十二年に、赤い屋根瓦と四方を赤い塀で囲まれた艶やかな木造二階建ての安達中学校が創立されました。安達郡内三町二十五村を含め様々な団体や自治体からの経済的支援の元、地域社会から大いなる期待と使命を受けてその歴史を刻みはじめました。校地内には、三万一千人を超える卒業生を見送り続けた「三顧の松」、安達中学校第一期生第二期生の卒業記念の桜を継承し植樹された「百年桜」、本校の校章をなす「まゆみの木」、そして、コンピュータ断層撮影の基本原理を開発し、日本で

102年目を迎えた母校の様子を、達高新聞159号、生徒会誌まゆみ51号からも記事をお借りしてお届けします。

同窓会入会式

令和7年2月28日、令和6年度(第77回卒業)同窓会入会式を挙行了しました。



五輪会長と伊藤校長先生の挨拶の後、8名のクラス幹事に委嘱状を交付し卒業記念品を贈呈し、代表の高島飛斗希さんからは希望にあふれた挨拶がありました。翌日に卒業式を控えた141名の卒業生は、体育館の窓から差し込む春の日差しに照らされて清々しい表情を見せていました。



同窓会入会式に先立って、令和6年度卒業生特別賞が授与されました。

令和6年度卒業生特別賞受賞者

高橋信次賞

渡邊日菜乃さん(3組)

まゆみ賞

本田 瑠香さん(1組)

紺野 莉緒さん(2組)

大河内麻衣さん(3組)

菅野帆乃香さん(4組)

高橋信次賞受賞者
渡邊日菜乃さんにインタビュー



Q1 受賞の感想をどうぞ。

意識していなかったのですが、意外で驚きました。でも、名誉ある賞を頂いてうれしく思います。

Q2 学習面で工夫したところと気を付けたことは何でしたか。

まず授業に集中して先生のコメントをノートにメモしていました。分からない時は答ではなくその理屈を理解しようと努めました。

Q3 得意科目は？

国語で、古典よりは現代文が好きです。丸山真男の「『である』と『する』」ことのような理詰めの文章が書けるようになっていたいと思ってました。

Q4 部活動は何を？

美術部です。上級生がいなかったのが、一年生四名でスタートして私が部長でした。県の美術展のためにずっと油絵を描いていて、今年の夏は全国高等学校総合文化祭に出品しました。

Q5 通学方法は？

悪天候でなければ、徒歩で三十分ほどでした。

Q6 安達高校へ入学した理由などありますか。

中学校であった高校説明会で「安達高校はユネスコスクールになっていてESD研究をする」と聞いたからです。

Q7 自分の将来について、今、どう考えていますか。

中学校の美術教師になろうと思っています。

Q8 後輩へのメッセージをお願いします。

高校時代は矢のように過ぎ去ってしまうので、意識して自分なりのチャレンジをして欲しいと思います。苦手でも勇気を出して挑戦したことが自分の糧になります。

部活動



今年単独チームで挑む
野球部にエール

私たちが野球部は、安齋悟先生、岩倉祐大先生のご指導の下、現在、二年生一名、一年生二名、マネージャー一名の計四名で活動しています。一昨年の秋から人数不足により、本宮高校と連合チームとして大会に出場してきました。今年度の夏の大会では、連合チームとしては県内初のベスト16という結果を残すことができました。

現在のチームになってからも本宮高校と連合チームとして活動しています。一緒に練習できるのは土・日曜日だけで、主に練習試合を行っています。練習試合では、たくさんの



カヌー部3選手、日本代表に決定！

3月に香川県で行われた日本代表選手選考会に、500m

課題が見つかり、一つずつ解消してきました。そして迎えた秋の県大会では、今までで一番良い試合ができましたが、あと二歩のところで負けてしまいました。

シーズンオフの現在は、もっと強くなるために二人の

(当時2年・現3年 矢部一平)

カヤックシングルで上位入賞した安齋勇真さん(3年)と青木悠生さん(3年)が、7月に開催される世界カヌースプリントジュニア選手権大会(ポルトガル・モンテモールオウエリヨ)に日本代表として出場することが決定しました。

また、U17の1000mカヤックシングルで4位入賞した島村金太郎さん(2年)も、9月に開催されるオリンピックホープス(チェコ・ラシセ)にU17日本代表として出場することに決定しました。

ゼロカーボンアワード最優秀賞受賞！



地球温暖化防止策の活動に優れている学校として高校部門から安達高校が選ばれました。

1月26日に表彰式が行われ、生徒会長の高岐さんとユネスコスクール北海道・東北大会に出場した國分さんが学校を代表して出席しました。

「ゼロカーボンアワード2024(学校版)」は福島県2025年カーボンニュートラルの実現にむけて、地球温暖化対策に率先して取り組んでいる学校等を表彰するものです。

安達高校は、ユネスコスクールとして持続可能な開発のための教育(ESD)や、持続可能なSDGsを踏まえた探究活動で環境問題への意識を深めていることが評価され受賞となりました。

「大山忠作襖絵展」

大成功に尽力

安達秀司さん（昭和54年卒）



大山忠作美術館主催の襖絵展が、当初予想された来場者数の2倍27,600人を迎え、令和6年11月17日大成功のうちに閉幕しました。同窓生の皆さんの中にも訪れた方は多かったことでしょう。

美術館開館15周年記念事業として発案されたから具体化し実現するまでの裏話は大変興味深いものでした。襖を借り受けるために成田山新勝寺に赴いた時のご縁や出会い、美術館に襖を展示するための台座の建具に畳を配した工夫また、NPO法人まちづくり二本松として初の大きな事業であったことから多くの困難に直面し、それらを様々なア

イディアを出し合って乗り越えたことなど、最前線に立った安達さんが語るエピソードの数々に時間を忘れて聞き入りました。

その中で特に印象的だったのは、安達さんが責任者として一番心を砕いたこと、「襖絵展に携わる施設職員からアルバイト、ボランティアの方々まですべての人たちがいかに楽しく気持ちよく仕事ができるか」ということでした。

はじめは心もとなない小さなスタートだったものが、徐々に人々を巻き込み、さらにそれが宣伝という大きな力を持って広がり、想定以上の来場者を迎え盛り上

がりました。襖絵展の大成功は襖絵そのものの魅力であることは言うまでもありませんが、このような多くの力の結集であったと知り大変感銘を受けました。



「観音丘陵遊歩道植物図鑑」

出版！

斎藤史則さん（昭和55年卒）



二本松の中心市街地を二分する観音丘陵。母校はその北側にあり、私たちは毎日教室の窓から四季折々の景色を眺めたものです。

「歩きながら撮った色々な植物の写真がたまっていたので、これをまとめてみよう」とファイルを作ったのが出版のきっかけです。おかげで、植物に詳しくなりました。教員生活を終えてから始めた珈琲豆焙煎所で、斎藤さんは「まだまだ載せていない植物がたくさんある」と目を輝かせながら話してくれました。

「山岳部女子、プチOG会開きました」



特に先生はなかに載っている部歌「達高岳人歌」を絶賛していました。母校の「応援歌」をもとにした替え歌でしようか。表紙のイラストや、部歌の作者が不明なのが大変残念です。

昭和53年卒の山ガールは、今回は学年を広げて声をかけ山岳部OB会を開きたいと話していました。

山岳部女子3人は顧問の日野真弓先生を囲んでOG会を開きました。

令和6年10月26日、場所は二本松駅前前の居酒屋「こんどこそ」。

82歳になられた日野先生は大変お元気で懐かしい思い出話に花が咲きました。先生は当時の山岳部の冊子を持参され、みんなで盛り上がりました。

令和6年度 安達高等学校メモリアル基金決算書

収入 13,740,829 円
支出 2,226,256 円
残額 11,514,573 円

1 収入

科目	予算額	決算額	増減	摘要
(1) 繰越金	13,739,715	13,739,715	0	
(2) 雑収入	0	1,114	-1,114	預金利子
計	13,739,715	13,740,829	-1,114	

2 支出

科目	予算額	決算額	残高	摘要
(1) ユネスコスクール海外等派遣	300,000	298,380	1,620	ブリティッシュヒルズ語学研修(18名参加)
(2) 芸術鑑賞教室	100,000	100,000	0	学校寄席(落語)
(3) 国家試験取得、各種検定	517,000	463,200	53,800	
① 英検	323,000	340,300	-17,300	5割補助 110名
② 数検	88,000	34,400	53,600	5割補助 14名
③ 漢検	106,000	88,500	17,500	5割補助 62名
(4) 部活動	1,400,000	1,364,676	35,324	
① 一般枠	400,000	400,000	0	ピッチングマシンホイル交換(野球部)、カヌー1艇購入(カヌー部)の補助
② ユニフォーム助成枠	1,000,000	964,676	35,324	5年ごと補助 バスケ男女、テニス女、バドミントン、野球、卓球男女、サッカー
(5) その他必要と認めたもの	0	0	0	
計	2,317,000	2,226,256	90,744	

「令和6年度安達高等学校メモリアル基金」運用の報告

令和5年度に創立100周年記念事業として創設されたメモリアル基金、令和6年度は部活動のユニフォーム新調にも活用されました。



昭和41年卒業3年2組 喜寿のクラス会を開催しました！

令和6年6月5日、県内をはじめ東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・宮城などから男女16名が野地温泉に集いました。

翌日は母校を訪れ、伊藤勝宏校長と五輪美智子同窓会長を交えての歓談。校長先生のお取り計らいで校舎を案内していただき授業も見学することができ、当時を懐かしみました。会場を移しての昼食会のあと、次回に元気で再会できることを願って解散しました。(クラス幹事大内三郎さんから報告)



昭和57年卒業生同級会賑やかに開催！

令和6年5月3日二本松御苑において、同級生約90名が出席し賑やかに開催されました。同級生代表幹事の菅野毅さんが挨拶し五輪美智子同窓会長が祝辞を述べました。



寄付紹介

昭和43年卒3組同級会代表大内謙一さん)から34,935円と昭和57年卒業生同期会から10万円、それぞれから同窓会活動に役立ててほしいと寄付がありました。同窓会活動の充実のため、有効に活用させていただきます。

寄贈図書

有限会社若松屋書店 岡岡英司社長(昭和30卒)から母校図書館の充実のため、「ビジュアル大図鑑 中国の歴史」など21冊、約10万円相当の寄贈がありました。

「安達高校同窓会ホームページ」ご案内

同窓会活動のみならず、安達高校生の話題、同級会・OB会情報や同窓生の活躍紹介など多岐にわたって発信しております。



令和七年度定期総会開催

6月7日(土)「アーバンホテル」本松において開催し、約70名が出席しました。五輪美智子会長の挨拶の後、来賓の渋川卓也校長、三保恵二本松市長からご祝辞をいただきました。

議事は、常任幹事の安斎通さん(昭和42年卒)を議長に、令和6年度活動報告及び決算報告、令和7年度活動計画案及び予算案、欠員役員の選任について審議し、原案通り承認されました。続いて現在3,000円の同窓会入会金について審議され、令和8年度から5,000円に改定することが承認されました。入会金は昭和56年度から44年間据え置きだったものが、生徒数の減少や物価の高騰などの現状に合わせて見直されたものです。

議事に続いて「メモリアル基金」の運用状況について報告がありました。新監事の諸橋一信さん(昭和60年卒)の挨拶のあと、退任される渡邊恵さん(平成元年卒)に感謝状と花束を贈呈し閉会しました。

アトラクション

では、会津大学発ベンチャー企業「inf.」石川達也さんと大内健一さん(共に令和3年卒)の講演があり、地域でのIT技術の普及に取り組み若い力に支援の拍手を送りました。

懇親会は顧問の阿部重二さん(昭和39年卒)の乾杯の発声で祝宴に入りました。校歌を全員が肩を組んで歌い上げ、達高同窓生の絆を深めてお開きとなりました。

【定期総会は毎年6月第一土曜日に】令和8年度は6月6日(土)となりますので、皆さんどうぞご参加ください。開催は同窓会ホームページでお知らせいたします。



令和6年度 一般会計 決算書
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

収入総額 6,600,091円
支出総額 6,450,632円
残 額 149,459円 (単位:円)

＜収入の部＞

科目	予算額	決算額	増減△	摘 要
入 会 金	465,000	465,000	0	3,000円×155名 (令和6年度入学生)
活動協力金	2,400,000	2,598,000	198,000	1,267名
繰 越 金	3,331,600	3,331,600	0	
雑 収 入	3,400	205,491	202,091	寄付金(昭和43年卒3組・昭和57年卒等) 校歌CD売上金 100周年記念誌売上金 預金利息
繰 入 金	0	0	0	
合 計	6,200,000	6,600,091	400,091	

＜支出の部＞

科目	予算額	決算額	増減△	摘 要
事 業 費	2,900,000	2,821,752	△78,248	会報発送2,085,072円 会報印刷439,300円 支部まゆみ会助成金258,000円 ホームページ維持費39,380円 奨学金120,000円 大会出場激励金及び広告費760,030円 卒業記念品費102,378円 高橋信次賞・まゆみ賞25,000円 美術部・音楽部助成金60,000円
後 援 費	700,000	1,067,408	367,408	総会会場費等
総 会 費	80,000	68,475	△11,525	会議室使用料等
会 議 費	30,000	11,035	△18,965	
慶 弔 費	30,000	0	△30,000	
渉 外 費	100,000	66,780	△33,220	各支部まゆみ会出席交通費等
事 務 費	350,000	332,194	△17,806	活動協力金振込手数料(ゆうちょ103,343円 コンビニ158,532円) 事務用品等
基金積立金	2,001,000	2,058,988	57,988	基金積立金 100周年記念誌売上金 基金通帳利息
負 担 金	0	0	0	
諸 費	0	24,000	24,000	同窓会入会金返戻金(途中退学者8名)
予 備 費	9,000	0	△9,000	
合 計	6,200,000	6,450,632	250,632	

差引残額 149,459円は次年度に繰越すものとする。

令和7年度 一般会計 予算書
(自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日)

収入総額 2,910,000円
支出総額 2,910,000円
残 額 0円 (単位:円)

＜収入の部＞

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△	摘 要
入 会 金	351,000	465,000	△ 114,000	3,000円×117名 (令和7年度入学生)
活動協力金	2,400,000	2,400,000	0	2,000円×1,200名
繰 越 金	149,459	3,331,600	△3,182,141	
雑 収 入	9,541	3,400	6,141	預金利息等
繰 越 金			0	
合 計	2,910,000	6,200,000	△3,290,000	

＜支出の部＞

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減△	摘 要
事 業 費	1,240,000	2,900,000	△1,660,000	会報発送600,000円 ホームページ維持費40,000円 会報印刷300,000円 支部まゆみ会助成金300,000円等
後 援 費	1,100,000	700,000	400,000	奨学金120,000円 大会出場激励金及び広告費800,000円 卒業記念品100,000円 高橋信次賞・まゆみ賞25,000円等
総 会 費	70,000	80,000	△ 10,000	総会経費
会 議 費	30,000	30,000	0	会議室使用料
慶 弔 費	20,000	30,000	△ 10,000	
渉 外 費	100,000	100,000	0	各支部まゆみ会出席交通費等
事 務 費	340,000	350,000	△ 10,000	活動協力金手数料300,000円 事務用品等
基金積立金	1,000	2,001,000	△2,000,000	
負 担 金	0	0	0	
予 備 費	9,000	9,000	0	
合 計	2,910,000	6,200,000	△3,290,000	

(科目間の流用を認める)

郡山まゆみ会

会長 紺野 健二
事務局 安田 博
今年度も昨年同様、総会と「郡山まゆみ会」会報の発行を予定しております。

現在の課題としては、会員の高齢化が進み会員数が減少していることが挙げられます。

仙台まゆみ会

会長 設楽 貞行
事務局 渡部 尚
昨年11月9日に総会を開催しました。今年は仙台まゆみ会創設55周年となるため記念になる総会にしたいと考えています。



福島まゆみ会

会長 半澤 正典
事務局 渡辺あゆ美
毎年6月福島まゆみ会総会を開催。

懇親会では年代を超えて交流を深めています。



文部だより

二本松まゆみ会

ただ今、活動をお休みしています。

岩代まゆみ会

会長 渡邊幸一郎
事務局 大内 伸一
昨年9月に令和6年度の総会を開きました。岩代小浜の歴史と文化を護る会副会長大内英克(昭和59年卒)の講演を頂き盛会にお開きになりました。



東和まゆみ会

会長 村松 義正
事務局 高橋 三雄
令和6年度は参加者は少なかったですが、11月に雪の磐梯横向温泉一泊で会員の親睦を深めることができました。



東京まゆみ会

会長 佐藤富美夫
事務局 菅野 育夫
本会は、関東在住の卒業生で構成され、今年で創立77年になります。

10月11日に(土)に総会・懇親会を行います。多くの参加を期待しています。詳しくはHPをご覧ください。



いわきまゆみ会

事務局 加藤 満福
会員の皆様のご協力をいただきながら組織を維持しております。

諸般の事情により支部長は空席となっております。

本宮まゆみ会

会長 國分 孝寿
事務局 石橋 淳
今年度「本宮まゆみ会総会」を開催してまいります。

母校の更なる躍進と達校健児のご活躍を祈念しております。

県警まゆみ会
(職場会)

会長 佐藤 裕治
事務局 櫻井 竜司
3月14日に退職先輩を送る送別会を開催いたしました。

県警まゆみ会は、年2回の会合で親交を深めています。



福島市役所まゆみ会
(職場会)

本年度福島市役所に在籍のまゆみ会は会員29名であります。年々会員数は少なくなっておりますが市役所まゆみ会の活動を継続して行っております。

100周年記念誌「安達百年」頒布!

1冊 5,000円
氏名・卒年・住所・電話番号を明示し、お申し込みください。
申込先
①学校事務局(はがき又はFAXで)
②同窓会HPお問い合わせフォーム
*数量限定です。



「意見等について」

会報についてのご意見等は、校内事務局宛に、はがき、手紙、ファックス、ホームページお問い合わせフォームでお寄せくださるようお願いいたします。同窓会の電話はございませんので、よろしく申し上げます。

〒964-0904
二本松市郭内二丁目347
FAX 0243-2216314



◇編集委員

大谷 敏彰 (昭50卒)
鈴木 久之 (昭50卒)
前田 紀子 (昭50卒)
服部 昌子 (昭51卒)
平栗 秀子 (昭51卒)

◆本部役員

顧問 阿部 重二 (昭39)
会長 五輪美智子 (昭49)
副会長 佐久間清彦 (昭47)
副会長 引地 知子 (昭51)
副会長 渡辺 譲治 (昭53)
副会長 鹿又いづみ (昭56)
監事 渡辺 仁一郎 (昭49)
監事 國岡 美和 (昭57)
監事 諸橋 一信 (昭60)

◆本部事務局

事務局長 大谷 敏彰 (昭50)
庶務 前田 紀子 (昭50)
庶務 大坪 裕一 (昭50)
庶務 服部 昌子 (昭50)
庶務 鈴木 久之 (昭50)
庶務 平栗 秀子 (昭51)
庶務 佐々木悦子 (昭58)
庶務 渡辺 公一 (昭59)